

サウザン・ジョージアン・ベイの住宅販売は1月の最高記録と同等

2020年1月にサウザン・ジョージアン・ベイ地区でMLS®システムを通じた住宅販売戸数は計182戸となり、2019年1月と比較し35.8%の大幅な増加となった。

ワサガ・ビーチ、クリアビュー市、コリンウッド、ブルー・マウンテン及びミーフォード、グレイ・ハイランドを含む西部地域の住宅販売戸数は、2020年1月に101戸となり、2019年1月と比較し17.4%（15件）増加した。「2016年1月の過去最高記録と同等に、2020年は協会の管轄エリアの西部・東部両方で素晴らしいスタートを切った」とサウザン・ジョージアン・ベイ地区不動産協会会長のマイク・ショールは話した。「まだ供給が少ない環境での販売を強化することで、2020年も価格が大幅に上昇するだろう」。

2020年1月には335のリスティングがあり、前年比で14.7%の増加となった。購入可能な住宅のリスティングは1月末で780ユニットとなり、2019年1月末から3.7%増となった。わずかに増加したが、全体的な供給は依然として歴史的に少ない。

2020年1月の住宅総取引額は1億210万ドル（約81億6,800万円）で、2019年の同時期から44.8%の急増となった。これは1月の記録としては3,000万ドル（約24億円）以上増の新記録だ。

出典：CREA Housing Market Stats 2020年2月

クリアビュー市、新しい水源を確保

昨年発表された調査では、クリアビュー市の人口は今後5年間で5,800人、今後10年間で1万人増加すると予測されている。クリアビュー市は主要な居住区であるステイナーへ、将来的に見込まれる居住者に水を提供するための新たな水源を探し始めた。

「数年前に行われた評価で、ステイナーにある水源で賄えることがわかっている」とダグ・メジャー市長は述べた。「水量が豊富で水源として十分なものがいくつかある。ただし、ステイナーの成長に伴い、別の水源を見つける必要もある」。

市行政は、クロンダイク・パーク・ロードとスニデール・コンセッション12の北東の角にある1585クロンダイク・パーク・ロードに、地下水源として活用できる可能性のある箇所を発見し、ステイナーに水を提供できるかどうかを判断するため試験的な採掘を開始した。市行政は1年前に土地を購入しており、その場所に水源を採掘することは、コリンウッドからアリストンへかけて伸びる給水パイプラインに接続するよりも安価である。

出典：simcoe.com, News 2020年2月

クリアビュー市は高齢者向けの住宅確保のために予算作りに着手

バリー・バートン・クリアビュー副市長は、高齢者向けの手頃な価格の住宅のために予算を確保し始めることを提案した。ロバート・ウォーカー議員の提案で、市評議会は、2020年に15万ドル（約1,200万円）、2021年に25万ドル（約2,000万円）、2022年に35万ドル（約2,800万円）を確保して、3年で75万ドル（約6,000万円）までの専用準備金を用意することに同意した。バートン副市長は、クリアビュー市が2014年から2024年の間に79の新しい手頃な価格の住宅ユニットを建設するという目標をシムコ郡から与えられているにも関わらず、実施していないと指摘した。彼は、この準備金によってクリアビュー市が数年以内に郡やデベロッパーと提携し、特に高齢者向けの手頃な価格の住宅の建設に取り掛かることを要望している。

シムコ郡の統計によると、郡が取りまとめる待機リストには3,907世帯が名を連ねており、そのうち26%（1,016世帯）が高齢者だ。ステイナーのみの待機リストは357世帯で、うち50%（178世帯）が高齢者だ。ステイナーにある唯一の高齢者向けの1ベッドルーム住宅は、現在15世帯分しかない。

出典：The Creemore ECHO, 2020年1月